



【八戸ブルースターズ-八学大】第1ピリオド4分7秒、八学大は川岸丈（左から2人目）が決め、1-0とする  
=テクノルアイスパーク八戸

# 八学大2勝目

第60回  
デーリー東北新聞社杯  
八戸市実業団  
アイス  
ホッケー

アイスホッケーのデーリー東北新聞社杯第60回

八学大は工藤聖矢と川

八戸市実業団リーグ戦第8日は26日、テクノルアイスパーク八戸で1試合が行われた。1勝1敗同士の間決は、八学大が八戸ブルースターズを9-6で破り、2勝目を挙げた。

岸丈の連係が光り、第1ピリオド(P)から大量6得点を奪った。第2Pはパワープレー(数的優位)を生かして着実に加算。その後、得点源の川岸が負傷するアクシデントに見舞われるも、主導権を渡さなかった。

一方、八戸ブルースターズも各Pでゴールを奪う展開。6得点と意地を見せたが、序盤の点差が響いて敗れた。

第9日の27日は同会場で、青い森信金-IHachinohe Clubが行われる。フェースオフは午後8時半。(船渡拓、千葉産也)

▽リーグ戦第8日  
八学大 9-6 八戸ブルースターズ  
○1勝1敗 3-1 1-2  
○1勝2敗 0-1 2-3

▽得点川岸2、河村2、工藤4、藤江(学)坂本真、松田、西村、田沼部多、本多、坂本潤(学)▽補点工藤、藤江2、川岸4、河村3、小笠原2(学)武尾3、磯合、古舘、坂本潤、本多、田名部多、坂本真(学)

序盤に6得点  
「走り勝った」

○：八学大は序盤から

圧倒的にバックを支配。中盤以降は失速気味となったが、手堅く2得点を手にした。2得点はアシストの河村竜正は「経験値の差は大きい相手だったが、走り勝っていた」とクールに語った。

先制した後の第1ピリオド11分すぎ、わずかな隙を突かれて同点とされたが、選手たちに焦りはなかった。川岸丈が落ちて着いてゴールへ流し込むと、河村らも続き、序盤だけで6得点。その後はパワープレー(数的優位)

でのリバウンド力が際立ち、ゴールにもつながった。30日は青い森信金戦。河村は「昨年は勝利できなかったが、別の大会では敗れている。まぐれじゃないことを証明したい」と力強かった。